

# 宮 崎 県 感 染 症 週 報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

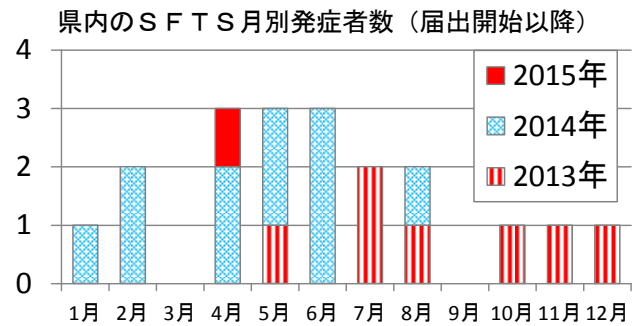
## 宮崎県第18週の発生動向

### トピックス

・重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（全数報告の感染症）の報告が延岡保健所から1例あった。県内での報告は今年初めてで、累計20例目となった。患者は50歳代女性で、発症は4月中旬であった。ダニの刺し口は確認できず、海外渡航歴もなかった。

県内のSFTS 年齢別報告数

～40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代～
1	2	4	5	7	1



### 全数報告の感染症（18週までに新たに届出のあったもの）

- 1類感染症：報告なし。
- 2類感染症：結核6例。
- 3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：A型肝炎1例、重症熱性血小板減少症候群1例、日本紅斑熱1例。
- 5類感染症：ウイルス性肝炎1例、水痘(入院例)1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	70歳代	女	肺結核	咳、痰、発熱
			70歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、倦怠感
			70歳代	男	肺結核	発熱
			80歳代	女	無症状病原体保有者	—
			80歳代	女	肺結核	症状なし
		都城	70歳代	女	肺結核	症状なし
3類	腸管出血性大腸菌感染症	都城	5～9歳	男	—	腹痛 O111(VT1,2産生)
4類	A型肝炎	宮崎市	50歳代	男	—	全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常
	重症熱性血小板減少症候群	延岡	50歳代	女	—	発熱、下痢、血小板減少、白血球減少、リンパ節腫脹
	日本紅斑熱	宮崎市	50歳代	女	—	発熱、頭痛、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	ウイルス性肝炎	宮崎市	30歳代	男	B型	全身倦怠感、肝機能異常、黄疸
	水痘(入院例)	都城	30歳代	女	臨床診断例	発熱、発疹 水痘ワクチン接種歴不明

□ 定点把握の対象となる5類感染症

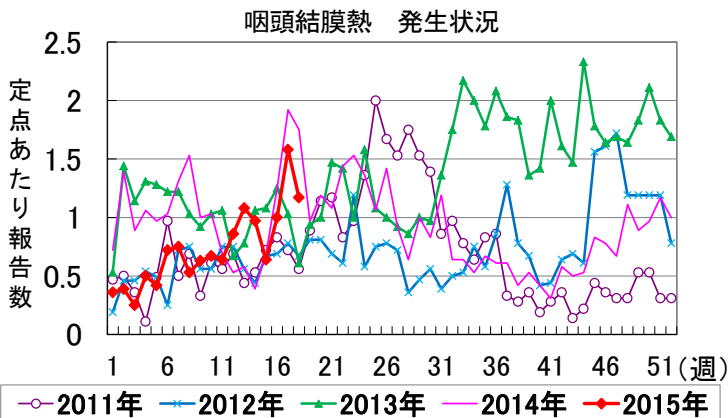
・定点医療機関からの報告総数は911人（定点当たり26.1）で、前週比104%とほぼ横ばいであった。前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎とヘルパンギーナであった。減少した主な疾患はインフルエンザと咽頭結膜熱であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

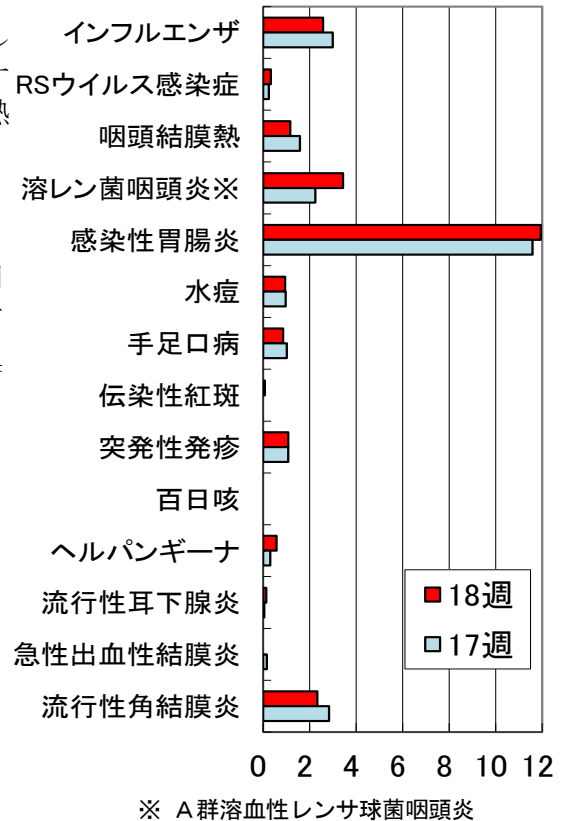
【咽頭結膜熱】

・報告数は42人（1.2）で、前週比74%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値\*（0.88）の約1.3倍であった。日南（3.3）保健所からの報告が多く、年齢別では1歳が全体の約4割を占めた。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値



《前週との比較》

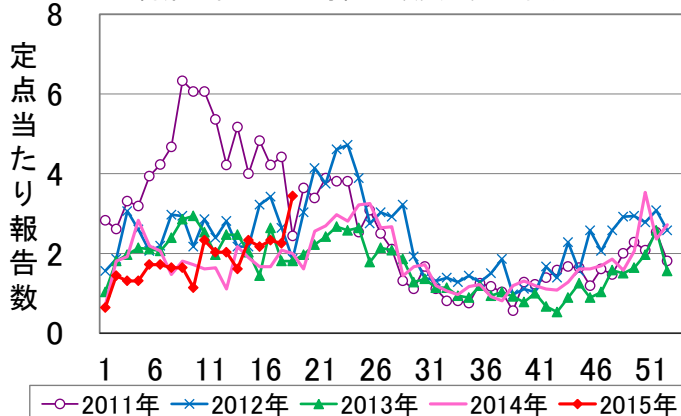


【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

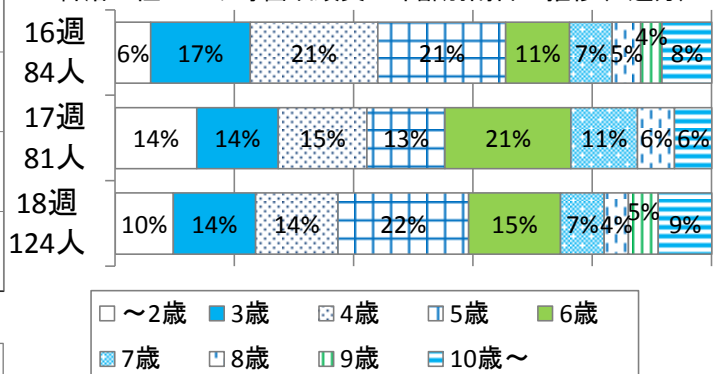
・報告数は124人（3.4）で、前週比153%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値\*（2.3）の約1.5倍であった。日南（8.0）保健所からの報告が多く、年齢別推移はグラフ参照。

\* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均値

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 発生状況



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 年齢別割合の推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎（ロタウイルス）：延岡保健所管内で1例、高鍋保健所管内で2例、日向保健所管内で1例報告された。年齢別では1～4歳が2例、10歳代及び70歳代が各1例ずつで、原因病原体の群別不明。

★流行警報・注意報レベル基準値超過疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	なし
日南	咽頭結膜熱(3.3)、 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	感染性胃腸炎(25.0)
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 27 年 5 月 7 日までに検出）

★細菌 報告なし。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状 等	検出材料	検出日
ライノウイルス	0～4歳	女	2015.4.17	気管支炎、下気道炎、上気道炎、 38.4℃	鼻汁	2015.4.28
ライノウイルス	0～4歳	男	2015.4.22	気管支肺炎、38.8℃、下気道炎、	咽頭ぬぐい液	2015.4.28
ライノウイルス	0～4歳	女	2015.4.24	百日咳疑い、下気道炎、上気道炎、 38.0℃	咽頭ぬぐい液	2015.4.28
ヒトメタニューモウイルス	10歳代	女	2015.4.22	肺炎、39.5℃、下気道炎	咽頭ぬぐい液	2015.4.28

○気管支炎、気管支肺炎と診断された乳児 2 名と百日咳疑いの乳児 1 名からライノウイルスが検出された。ライノウイルスは主に鼻、喉などの上気道に症状がみられるが、生後 3～6 ヶ月の乳児では免疫が弱く重症化しやすい。また、重症例では発熱が長期間続くことから細菌による二次感染が起きやすくなるため注意が必要である。

○肺炎と診断された小児からヒトメタニューモウイルスが検出された。ヒトメタニューモウイルスは、2～6 月を中心に流行し、乳幼児や高齢者では気管支炎や肺炎など下気道に症状がみられる。近年、ヒトメタニューモウイルスによる高齢者施設での集団感染の報告もあり、成人の呼吸器感染症の原因ウイルスとしても重要視されている。

📊 全国第 17 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 17 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	322 例				
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	33 例	パラチフス	1 例
4類感染症	E 型肝炎	3 例	A 型肝炎	2 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例
	つつが虫病	2 例	デング熱	2 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	20 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	11 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	21 例
	急性脳炎	5 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	5 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3 例
	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	2 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	6 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	32 例	水痘（入院例）	3 例	梅毒	35 例
	播種性クリプトコックス症	1 例	破傷風	1 例	風しん	7 例
	麻しん	2 例	薬剤耐性アシネトバクター感染症	1 例		

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 108%と増加した。今週増加した主な疾患は咽頭結膜熱と A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎と手足口病で、減少した主な疾患は R S ウイルス感染症であった。

手足口病の報告数は 3,347 人(1.1)で、前週比 138%と増加し、例年同時期の定点当たり平均値\*(0.30)の約 3.5 倍であった。島根県(4.3)、鳥取県(4.2)からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約 6 割を占めた。

## 宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2015年 第18週(4月27日～5月3日)

疾病名		第17週	第18週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	177	152	15	37	33	23	16	13	5	10	
	定点あたり	3.00	2.58	0.94	3.70	4.71	4.60	3.20	2.17	2.50	1.67	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	9	12	1		1			3		7	
	定点あたり	0.25	0.33	0.10	0.00	0.25	0.00	0.00	0.75	0.00	1.75	0.00
咽頭結膜熱	報告数	57	42	8	5	8	10				10	1
	定点あたり	1.58	1.17	0.80	0.83	2.00	3.33	0.00	0.00	0.00	2.50	1.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	81	124	26	18	30	24		4		22	
	定点あたり	2.25	3.44	2.60	3.00	7.50	8.00	0.00	1.00	0.00	5.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	417	430	147	33	50	19	52	44	25	46	14
	定点あたり	11.58	11.94	14.70	5.50	12.50	6.33	17.33	11.00	25.00	11.50	14.00
水痘	報告数	35	34	6	8	6	5	2	5		1	1
	定点あたり	0.97	0.94	0.60	1.33	1.50	1.67	0.67	1.25	0.00	0.25	1.00
手足口病	報告数	37	31	9	1	3		7	8	1	1	1
	定点あたり	1.03	0.86	0.90	0.17	0.75	0.00	2.33	2.00	1.00	0.25	1.00
伝染性紅斑	報告数		3	1			2					
	定点あたり	0.00	0.08	0.10	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	39	39	17	9	2	3	1	5		1	1
	定点あたり	1.08	1.08	1.70	1.50	0.50	1.00	0.33	1.25	0.00	0.25	1.00
百日咳	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	11	21	3	7	8		2			1	
	定点あたり	0.31	0.58	0.30	1.17	2.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.25	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	5	1	1			1				2
	定点あたり	0.06	0.14	0.10	0.17	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	2.00
急性出血性結膜炎	報告数	1										
	定点あたり	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	17	14	13	1							
	定点あたり	2.83	2.33	4.33	0.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		4			1			2		1	
	定点あたり	0.00	0.57	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	2.00		1.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点あたり報告数

## ●全数把握対象疾患累積報告数(2015年第1週～18週)

2類感染症	結核	75例(6)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	3例(1)			
4類感染症	A型肝炎	2例(1)	重症熱性血小板減少症候群	1例(1)	つつが虫病
	日本紅斑熱	1例(1)	マラリア	1例	
5類感染症	ウイルス性肝炎	3例(1)	急性脳炎	1例	クロイツフェルト・ヤコブ病
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3例	後天性免疫不全症候群	2例	侵襲性インフルエンザ菌感染症
	侵襲性肺炎球菌感染症	2例	水痘(入院例)	1例(1)	梅毒
	播種性クリプトコックス症	2例	破傷風	1例	

( )内は今週届出分、再掲